

My City Kawaguchi マイシティかわぐち



12/4日 第35回 川口マラソン

青木町公園総合運動場を会場に開催。絶好のマラソン日和に恵まれ、約6,500人のランナーが師走の川口を駆け抜けました。



11/27日 平成28年度 川口市消防団特別点検

神根運動場に360人の消防団員が参集。火災が多発するシーズンに備え、ポンプ車操法訓練、放水訓練、機械器具点検などを実施しました。



金剛寺(安行吉岡)

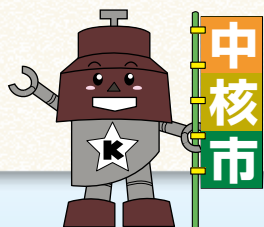
11/24日 雪の川口

都心では54年ぶりとなる11月の初雪を観測したこの日、市内も雪で覆われ、一足早い冬が訪れました。

11/20日

全市一斉クリーンタウン作戦

市内全域で実施。ごみのポイ捨てのない美しいまちを自分たちの手でつくり、1万4千人を超える市民が参加して、19.6トンのごみの回収をしました。



みんなでつくる 川口の元気

vol.27

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、みなさんは川口市立医療センターの役割をご存知でしょうか。医療センターは、入院や手術を必要とする重症患者に対応する二次医療、生命にかかわる重篤な救急患者に対応する三次医療機関であり、そのために最新の医療機器や技術を積極的に導入しております。しかし、現在は軽症患者への外来診療等の一次医療に多くの時間と労力が費やされており、本来の役割を十分に果たしているとはいえない状況にあります。限られた医療資源を適正に供給していくためには、一次・二次・三次医療の適切かつ重層的な地域医療体制を整えていく必要があります。

そのために、医療センターは、「地域医療支援病院」の承認を受けることを目指しています。軽症患者は、診療所やクリニックなどのかかりつけ医が担い、かかりつけ医では対応困難な二次・三次医療の患者を積極的に受け入れる体制整備により、それぞれの役割分担が明確化され、地域完結型の医療連携が適正に運用されることとなります。現在、市内では済生会川口総合病院がこの承認を受けています。

かかりつけ医は、日常的な医療を提供し、気軽に健康相談にも応じる、みなさんにとって最も身近で信頼できる存在です。また、病状などに応じて、より高度な医療機関を紹介するコーディネーターでもあります。

こうした医療体制を市民のみなさんが理解し、かかりつけ医をもてば、病気の早期発見・早期治療につながるとともに、高度で専門的な医療が必要な場合でも、住み慣れた地域の中で円滑に医療連携が行われ適切に対応できます。みなさん、かかりつけ医をもって元気に暮らしましょう。

医療センターの役割

川市長 奥ノ本信夫



市広報番組「ふれあい川口」1月号で市長年頭インタビューを放送します。
【放送】J:COM川口戸田/埼玉東1/1(祝)7(出)12時
(土・日曜日9時)
※市ホームページでもご覧になれます



12/10(土)～15(木)

拉致被害者・特定失踪者写真展

12月10～16日の北朝鮮人権侵害問題啓発週間にあわせ、中央図書館入口で開催。拉致被害者田口八重子さんの写真などを展示し、拉致問題の早期解決を訴えました。



12/2(金)～1/31(火)

かわぐち光のファンタジー2016

川口駅周辺、西川口駅西口、東川口駅南口で開催。合計18万球のシャンパングールドの輝きが街を包み、幻想的な雰囲気演出します。(点灯時間17:00～23:00)